

道の駅やちよ 八千代ふるさとステーション
第4回道の駅やちよ「農のめぐみ」川柳大会

入賞作品

課題「春の味覚」

遠藤砂都市 選

子供の部

秀句 きれいだなおいしいはなはなのはなだ 橋本 歩里
秀句 弁当の菜の花春にさそわれる 伊藤 結衣
秀句 小さな手大きなイチゴ頬に入れ 川原田千夏

一般の部

秀句 お花見に筍ご飯お供する 矢島 由子
秀句 フキノトウ刻み味噌和え酒の友 阿部千恵子
秀句 蕨の薑五官目覚める春の味 羽弥田 廣
秀句 山菜の風味を舌に春を見る 矢島 修己
秀句 里山の恵み丸ごと春の味 山田 純子
秀句 よもぎ摘み春の序曲を身に感じ 藤川三枝子
秀句 せり摘んで香り楽しむ春の味 小川 桂子
秀句 蕨の薑苦味の解る歳になり 西田みか子
秀句 豪快に丸ごと食べる春キャベツ 上東野理恵
秀句 たらの芽のごま和えこれぞ春の味 丸谷 節子
秀句 根雪溶けそつと顔出す蕨の薑 安藤 安国
秀句 春キャベツ甘味くるんだ玉手箱 小川 剛毅

秀句	道の駅春の山菜天こ盛り	山崎 進
秀句	弁当を開けば菜花母の味	増川 瑞恵
秀句	竹の子の着物を脱がし舌鼓	佐藤 昌平
秀句	野蒜ゆで酢味噌でつまむ春の味	土田 祥子
秀句	春野菜苦味が脳を刺激する	萩原 桜児
準特選	小包の隅に蕨味噌母の味	西澤はるか
準特選	口中に春が広がる草だんご	羽生田 晴
準特選	竹の子の皮に梅干幼い日	関川由美子
準特選	新たまに鯉節かけて酒進む	阿部 茂章
準特選	からし菜の刺激をもらい脳に喝	齊藤キミ子
特選	菜の花を和えた肴で春に酔う	押切 卓郎
特選	二世帯に農のめぐみの春を盛る	横田美由紀

みなさまに選んでいただく「道の駅やちよ賞」

入賞作品 秀句二十作品から来館者さまの投票にて選出

子供の部

道の駅やちよ賞 小さな手大きなイチゴ類に入れ 川原田 千夏

一般の部

道の駅やちよ賞 よもぎ摘み春の序曲を身に感じ 藤川 三枝子

道の駅やちよ賞 弁当を開けば菜花母の味 増川 瑞恵